

板柳町二十三夜塔のアカマツの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県北津軽郡板柳町大字赤田字松下 地内
名木の名称	二十三夜塔のアカマツ 推定樹齢 300年
名木の所有者	赤田町内会 会長 三上 武美
治療年月日	平成23年11月14日（月）
樹木医による 名木の診断内容	枝条の濃緑色がうすれて、やや横緑になって樹木全体が疎になり、枯枝が目立っている。 根元の南側は、リンゴ園の作業道路の一部になっていて、根元全体は固結状態となって、根系の活動を妨げている。 また、東側の水路付近の根系には腐食した断根部が確認できる。
実施した治療内容	高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、土壌改良工を実施した。 また、根系腐朽部の処理を行うとともに、土壌改良したあとに細根の発生を多くするため、発根剤の散布と新根の健全性を促進するため養生剤の散布を行った。
今後の名木に 対する留意事項	土壌の固結状態が非常に悪いので、今後も十分な観察を行い、土壌が固結しないよう注意が必要である。



板柳町大字赤田

二十三夜塔のアカマツの木です。

樹木全体が疎になり、枯れ枝が目立っている。



根元の南側は、リンゴ園の作業道路の一部になっていて、根元全体は固結状態となって、根系の活動を妨げている。



土壤改良工を実施した後に、細根の発生を多くするため、発根剤の散布を行った。